第23回
長崎大学病院　ICLSコース
報告書

「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和元年6月1日（土）開催

主催：長崎シミュレーション教育研究会
共催：長崎大学病院　長崎外来医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
救命救急センター
協力：日本光電九州株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
・BLS(一次救命処置)に習熟する
・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
・除細動の適応を判断できる
・電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生16名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。
今回の受講生は、16名全員初期研修医であった。
スタッフ(コースディレクター2名、インストラクター4名、アシスタントインストラクター5名)計11名で、指導を行い、3ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.4

〈受 講 生〉

			氏　　名	所　属　等	
グループA	①	①	黒岩　かほり	1年次	長崎大学病院
			藤原　勇輝	1年次	長崎大学病院
	②		小出　俊朗	1年次	長崎大学病院
			淵野　萌子	1年次	長崎大学病院
		②	壹岐　聡一朗	1年次	長崎大学病院
グループB	①	②	福田　崇人	1年次	長崎大学病院
			村田　麻耶子	1年次	長崎大学病院
			村山　真由子	1年次	長崎大学病院
	②	③	俵口　結衣	1年次	長崎大学病院
			松尾　俊哉	1年次	長崎大学病院
			塩田　恭史	1年次	長崎大学病院
グループC	①	③	柿添　麻由子	1年次	長崎大学病院
		④	樋口　尚浩	1年次	長崎大学病院
			杉尾　小百合	1年次	長崎大学病院
	②		渡部　誠也	1年次	長崎大学病院
			辻野　耕平	1年次	長崎大学病院

〈スタッフ〉

役　　割	氏　　名	所　　属
コースディレクター	柴田　英貴	柴田長庚堂病院
サブディレクター	山野　修平	長崎大学病院/高度救命救急センター
インストラクター	石本　裕士	長崎大学病院/第二内科
	百木　真吾	長崎市北消防署
	立石　洋平	長崎大学病院/脳卒中センター
	和泉　泰衛	長崎医療センター
アシスタント インストラクター	北山　素	長崎大学病院/消化器内科
	田中　由香	長崎大学病院/ICU
	山田　勇斗	長崎大学病院/国際医療センター
	和田　千香子	佐世保総合病院/研修医2年目
	西　真輝	済生会長崎病院/研修医2年目

〈実施内容〉

開催日時	令和元年6月1日（土） 9：20～17：00
受講者数	16名
対　　象	初期研修医　16名
場　　所	長崎大学病院　シミュレーションセンター

〈スケジュール〉

		グループ(A)		グループ(B)		グループ(C)	
		①	②	①	②	①	②
09:00～09:20	0:20	受　付					
09:20～09:30	0:10	オリエンテーション					
09:30～10:05	0:35	BLS+AED シミュレーション室1			BLS+AED シミュレーション室2		
10:05～10:15	0:10	休憩・移動					
10:15～11:15	1:00	気道管理 シミュレーション室1			モニター シミュレーション室3		
11:15～11:25	0:10	休憩・移動					
11:25～12:25	1:00	モニター シミュレーション室3			気道管理 シミュレーション室1		
12:25～13:10	0:45	昼　食					
13:10～13:20	0:10	午後からのオリエンテーション シミュレーション室2					
13:20～14:30	1:10	チーム蘇生 VF/VT シミュレーション室1		チーム蘇生 VF/VT シミュレーション室2		チーム蘇生 VF/VT シミュレーション室3	
14:30～14:40	0:10	休憩・移動					
14:40～15:30	0:50	non　VF/VT シミュレーション室3		non　VF/VT シミュレーション室1		non　VF/VT シミュレーション室2	
15:30～15:40	0:10	休　憩					
15:40～16:40	1:00	メガコード シミュレーション室2		メガコード シミュレーション室3		メガコード シミュレーション室1	
16:40～17:00	0:20	終了式・修了証授与式					

午前：気道管理

インストラクター：	★百木・和泉
アシスタント	：北山・山田

午前：モニター

インストラクター：	★石本・立石
アシスタント	：田中・和田・西

午後

グループ1

★石本・田中　・西

グループ2

★百木・和泉・北山（山野）

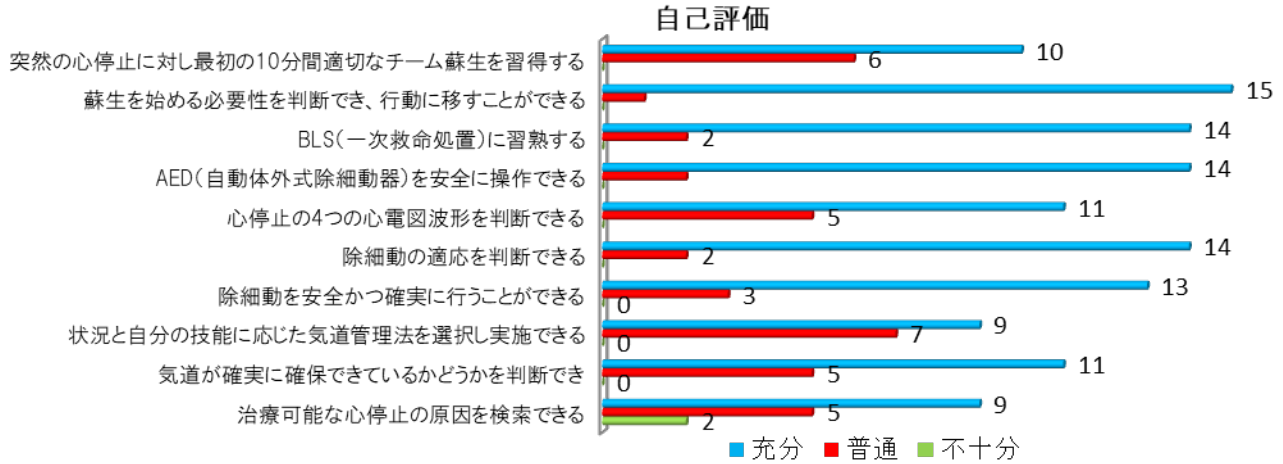
グループ3

★立石・山田・和田

★ブースリーダー

◆アンケート◆
受講生の声

1)到達項目について、到達できたと思いますか

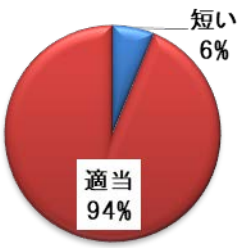


2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどう変わったと思いますか？

- 慌てないで人を集める事、チームで声を掛け合う事の重要さが理解できた。
- 蘇生の実際、チームとしての行動を知らなかったので、今回の参加は大きな学びだった。
- 焦らなくなりたかったですが…少しは落ち着いた方だと思う。
- 波形を冷静に判断し、除細動を適応かそうでないか判断できるようになった。
- 初めよりは後、シミュレーションを重ねるごとに、実力が向上した事を実感した。
- 基本が出来ていたつもりでいたが、シミュレーションに入ると、焦って出来ていた事が、出来なくなってしまった。
- まだまだ、練習と行動力が足りないと気付いた。
- チームで行う重要性を実感した。
- チームで動く為の、情報共有、コミュニケーションをより行えるようになった。
- 優しく的確な指導で、1日があっという間で、楽しく学べました。
- 指示だし、次はどう動くべきか考えるようになった。
- 周囲を見て、臨機応変に役割を考えて行動する力が身についたと思う。
- ハリーコールの時に本気で走れるような気がする。以前は最初に着くのが怖くて、様子をみていた。
- 初期対応について、教科書でしか学んでこなかった。今回体験して、理解が深まった。
- まず何をすべきか、動くべき選択肢が身についた。

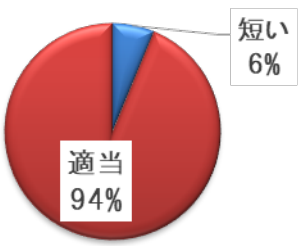
3)カリキュラムについて、お尋ねします

講習時間



指導内容(量)

時間設定



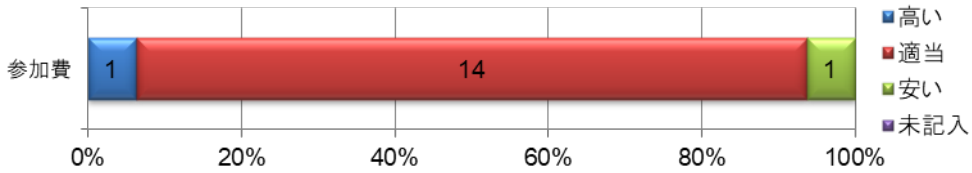
4)インストラクターに一言

- フィードバックをして頂き、自分の良かった事、出来なかった事が明確に分かった。
- 頂いたアドバイスの一つ一つを反復し、今後活かしたい。
- 丁寧に指導して頂き、有り難く思う。
- 分かりやすく指導して頂いた。
- ICLSの基礎がBLSである事を忘れないように致します。
- 細かなアドバイスで自分のクセを振り返る事が出来ました。
- 優しく指導して頂き、伸び伸びを取り組むことが出来ました。
- 先生方が優しく、安心して受講出来ました。

5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- 除細動器のジェルの空箱か何か置いててもらうと忘れなさそうです。
- 良い環境、良い設備でした。

6)参加費は・・・



7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

- シミュレーター(人形)の機械の調子が悪いのか、換気出来ない時もあった。また、胸部の動きが分かり辛かった。

8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

- インストラクターを希望したのは、受講生16人中、8名

◆アンケート◆
スタッフの声

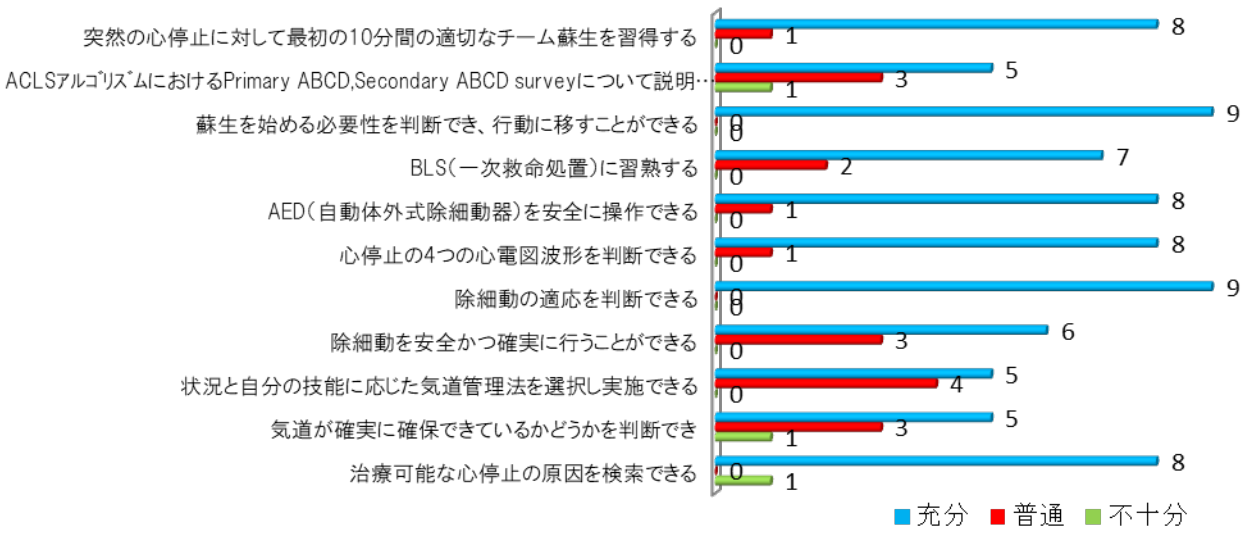
1）受講者の態度・意欲はどうだったか？

- 皆さん積極的に取り組んでくれていました
- 充分。研修が始まったばかりなので真剣でした。
- 基本的にどのブースでも、真面目に取り組んでいた。
- 活発な質問が飛び交い、意欲的な姿勢だった。
- 午後になるにつれ、集中してできていました。
- 真面目な人が多く、不明点は良く質問が出ていた。

2)予備知識（予習含む）はどうだったか？

- 処置など、対応までしっかりと行えていました
- 人によってばらつきが多かった。一部予習を怠った人も・・・
- やや足りない先生もいたと思います。
- 人により差がありましたが、全体的に最低限のラインは押さえていました。
- 担当した人はほとんど予習していたように感じた。

3）到達項目について、到達できたと思いますか？



4）自身はどうでしたか？

- 指導が久しぶりで、覚えていないことも再復習できた。
- アシスタントのサポートで、気を抜いたところがあった。
- 前回と比較して、話の流れはまとまっていたように思う。
- 受講生へフィードバックをする際の気づきがいまひとつ。他の先生のインストラクションを参考にしたい。
- 短い時間で、効率よく打ち合わせが出来たと思う。
- シナリオステーションの情報付与等で、情報を与えすぎてしまい、思ったように進行できなかった。
- 気管などもう一度見直そうと思う。

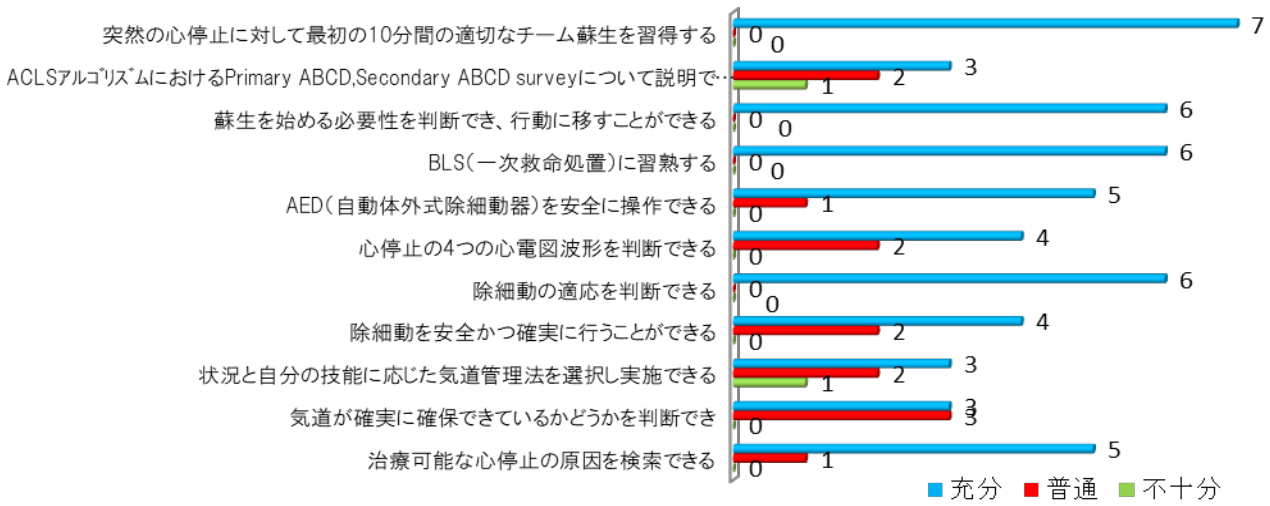
5）同僚のインストラクターはどうでしたか？

◦足りないところは補足の説明をしてくれたり、フォローしてもらえた。
◦看護師の視点で、コメントをもらい勉強になった。
◦自分の経験を元に、細かいところまで指摘されていた。
◦気づきを促すような声かけ、雰囲気作りなど、勉強になった。

6）アシスタント、テューターはどうでしたか？

◦色々なことを助けていただき、勉強になった。
◦雰囲気を、しっかり作っていた。
◦ナイスサポートだった。

7）到達項目を十分教えることが出来ましたか？



8）講習会全体について

1.講習時間については、全員が適当と答えた。
2.指導内容(量)は、11名中8名が適当と答えた 。

9） 運営者について

1.当日の運営はどうでしたか？
問題なし、スムーズでした。
事務担当が不在なのは非常に問題。このままだと続かない。
事務担当がいない中での1回目でしたが、力を合わせてできたと思います。
事務員の方の協力(受付等)が欲しかった。
2.当日までの準備はどうでしたか？
準備が少し大変だった。
事前にシナリオやタイムスケジュールをもらえたので分かりやすかった。

10）今後のこの会についてひとこと

◦引き続き、よろしくお願いします。
◦是非今後も参加させてください。
◦メルアドのチェックをお願いします。

長崎大学病院　長崎外来医療教育室

地域医療支援センター ・ シミュレーションセンター

〒852-8501
長崎市坂本1丁目7番1号

電話　(095) 819-7346
FAX　(095) 819-7379